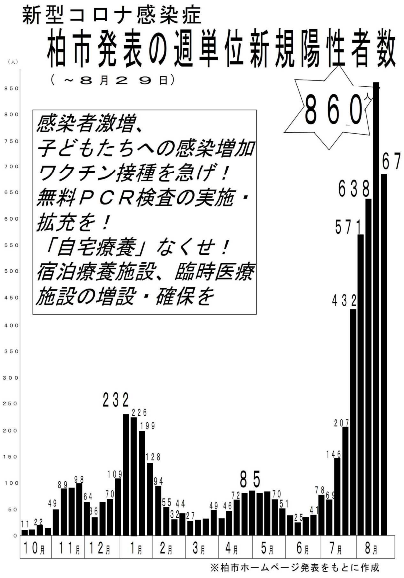
柏市議団ニュース

２０２１年９月２日
日本共産党柏市議会議員団

9月市議会が始まります

コロナ感染者急増 医療崩壊に立ち向かう 「災害時」級の対応を

新型コロナウイルス感染症の拡大は、全国的にも柏市においてもまさに感染爆発の様相を呈し、救えるはずの命が救えない医療崩壊が現実化しています。



柏市では先月、新型コロナに感染した30代の女性が入院先が見つからないまま、誰の見守りもない中で自宅で出産し、新生児が死亡し全国に衝撃を広げています。また軽傷と診断されて自宅療養だった60代の女性は、数日間、保健所が電話してもつながらず放置され、職員が訪問すると亡くなっていたということも起きています。このような状況の中、政府のコロナ専門家会合が「災害レベルの局面」と指摘してるにもかかわらず、菅内閣は有効な対策を立てず、国民を感染爆発の危険にさらしています。日本共産党柏市議団は市民のみなさんと力を合わせ、現実化している医療崩壊に立ち向かう、大災害時の対応をする政治を実現するために、今議会でもがんばります。

補正予算の組み替えを提案

今議会に提案されたコロナ対策の補正予算を見ると、総額約22億円の内、ワクチン接種に関する予算が10億円。ワクチン接種は早急に進めなければなりません。しかしそれだけでは感染拡大を抑えることはできません。新型コロナデルタ株は、感染力が従来株の何倍も強いと言われています。抗原検査、ＰＣＲ検査等広く検査を行い、無症状感染者を早期に発見し保護することが、感染症対策の基本です。にもかかわらず、提案された補正予算には、検査を独自に拡大する予算は計上されていません。日本共産党柏市議団は、他の会派・議員と共同して補正予算については組み替え提案を予定しています。

質問時間の確保を求める 17議員連名で

コロナの感染が急拡大し、営業やくらしは更に厳しくなり、医療体制は崩壊の危機です。市民の命を守るため、議会はいつも以上の議論が必要です。

柏の議会は昨年6月から議員の質問時間を削減しています。開会前、自民系会派と公明党以外の17名の議員の連名で、質問時間を元の60分に戻すように議長、議会運営委員長に申し入れを行いました。最終的に質問時間は1人10分削られ、50分となってしまいました。市民からは議会は議論の場ではないのかとの厳しい意見が届いています。

裏面に「コロナに関する緊急申し入れ」「学校でのコロナ対策」

わたべ和子
事務所
☎7178-5155

くさかみや子
事務所
☎7164-6870

ひらの光一
事務所
☎7145-9672

武藤みつえ
事務所
☎7170-6112

やざわ英雄
事務所
☎7193-8175

９月柏市議会日程

９月　３日（金）	市議会開会
	請願締切（１７時）
９日（木）～１６日（木）	質疑並びに一般質問
１７日（金）	総務委員会
	市民環境委員会
２１日（火）	教育民生委員会
	建設経済委員会
２４日（金）	議案等採決　閉会

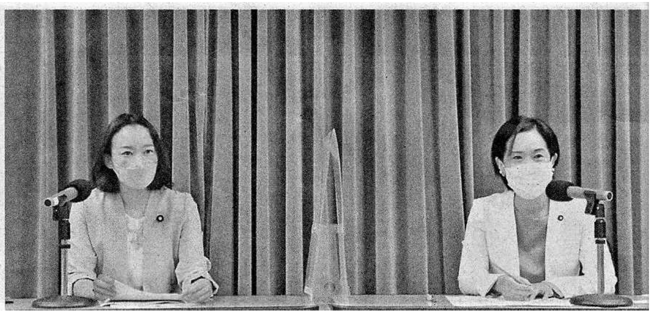
１０代以下の感染者増加
学校での対策徹底を

８月の１０代以下の感染者数・割合		
第１週	１０２人	１７．９％
２週	１２８人	２０．１％
３週	１９４人	２２．６％
４週	１４６人	２１．６％

　新型コロナデルタ株の出現により、感染拡大が急速に広がっています。これまでと違い、子どもたちへの感染も広がっています。学校の新学期が始まるにあたって、教育委員会は、小中学校については「午前中のみの登校で、給食後下校」という方針を決めました。しかし、それだけで感染拡大のリスクを減らせるのかと、疑問の声があがっています。感染した子どもが家族に感染させていたという報告もあります。

　日本共産党柏市議団は、市の責任でＰＣＲ検査等の検査を広く行うことを求めていますが、子どもたちの感染拡大、新学期スタートにあたり、まずは保護者の協力を求めて、子どもたちの抗原検査を定期的に行うことを求めています。

　日本共産党は８月２５日「学校での感染症対策についての緊急提言」を発表しました。



緊急提案について記者会見する畑野衆院議員（右）と吉良参院議員＝25日、文科省内

秋山市長に緊急の申し入れ

　日本共産党柏市議団は、８月２０日、秋山浩保柏市長に対し、新型コロナに関する緊急の申し入れを行いました。

　応対した鬼沢副市長は、感染拡大の中で自宅療養にどう対応するかが課題になっている。「抗体カクテルができるホテルを確保する」「市立病院に酸素ステーションを設置する予定」「訪問診療を開始した」「ワクチン接種は、柏駅西口のクレストホテルだけでなく、柏の葉駅前にも準備している」などと答えました。

　しかし柏市は、感染症対策の基本である「検査の徹底」を行いません。東京都墨田区保健所では「在宅患者の重症化を防ぐ」ため積極的な対応をするとともに、感染源対策として「徹底した検査をやり、できるだけ感染者を隔離する」ことに力を入れています。日本共産党柏市議団は、柏市においても積極的な取り組みをすることを求めました。

９月市議会の共産党議員の質問日程と主な質問予定項目

やざわ英雄議員　９日（木）14時
- ○自校方式の学校給食を守れ
- ○新型コロナ対策
- ○浸水・冠水対策
- ○通学路の安全対策
- ○コミュニティーバスの実現　等

くさかみや子議員９日（木）16時５分
- ○新型コロナ対策
- ○国保事業について
- ○学校給食センター化反対
- ○コミュニティーバスの実現　等

ひらの光一議員10日（金）14時
- ○新型コロナ対策
- ○柏市児童相談所はどうあるべきか
- ○地区計画とデータセンターの問題点
- ○学校給食問題
- ○通学路の安全確保　等

わたべ和子議員　13日（月）13時
- ○新型コロナ対策
- ○市立柏病院の早期建て替えを求める
- ○学校のトイレに生理用品の設置を
- ○布施南地区データセンター問題　等

武藤みつえ議員　14日（火）16時５分
- ○新型コロナ対策
- ○障害者支援
- ○補聴器助成、ヒアリンググループ増設
- ○生活保護利用者の熱中症対策
- ○地域の諸問題　等